

保阪正康さんの近現代通史 【昭和天皇が歩んだ20世紀】

<第一期>後編



講師 ノンフィクション作家 保阪 正康 Masayasu Hosaka

昭和天皇の生涯を通して「日本の20世紀」を描く

昭和天皇は明治34年(1901)に誕生し昭和64年(1989)に崩御されました。その生涯は明治・大正・昭和の三代に渡ります。この講座では、立憲君主、大元帥、現御神、国民の象徴といったさまざまな顔を持って生きた昭和天皇の視座から、日本の近現代史を通観します。

2017年10月にスタートしたこの講座は、2年間・全24回の連続講座を予定しています。第一期後編は、昭和天皇の摂政就任から真珠湾攻撃までを取りあげます。第二期は戦中・戦後の約50年を範囲とし、2018年10月-2019年9月に開催する予定です。第二期の募集は2018年夏開始予定です。

保阪正康

4/14⁺
14:00-17:00

摂政宮としての5年間

1

昭和天皇が摂政宮に即位してからの5年間、日本社会は奇妙な空間となった。「天皇がいるのに、天皇がいない」という時代になったからである。陸海軍を動かす大元帥は不在、皇太子は軍隊の中ではまだ佐官の地位にあった。従ってこの5年間は動いていない。かわって大正デモクラシーの時代であった。その間の昭和天皇の姿を見ていく。

7/7⁺
14:00-17:00

2・26事件への困惑と怒り

4

昭和天皇にとって昭和11年の2・26事件は、許しがたい暴挙であった。にもかかわらず、それが4日間もかかってやっと制圧されたのはなぜだったのか。この間の事情を調べていくと、昭和天皇はこのころまで軍事指導者に利用されていたことがわかる。天皇が示したその怒りの本質をより具体的に見ていくことで、昭和史の暗部がわかる。

5/12⁺
14:00-17:00

昭和天皇と満州某重大事件

2

昭和天皇にとって、即位してから初めての困難な問題は満州某重大事件(関東軍による張作霖爆殺事件)であった。この事件の報告をめぐる田中義一内閣との間に軋轢が起こり、期せずして帝王学が初めて試される出来事となったのである。昭和天皇の心中を改めて整理していく。

8/4⁺
14:00-17:00

日中戦争と三国同盟の潮流の中で

5

昭和12年7月の日中戦争、そして翌年の張鼓峰事件、さらにその翌年のノモンハン事件と軍部の軍事行動は広がっていくが、昭和天皇はそのつど困惑しながらも容認していく。日本は単に軍事上の道を歩むだけでなく、精神的にも皇国史観を徹底していく。昭和天皇とその周辺の側近たちは教養主義・知性重視の中で、新たな対立の図式をつくりあげていくことになった。

6/9⁺
14:00-17:00

昭和天皇と満州事変前後の軍部

3

昭和6年9月の満州事変は、昭和天皇にとまどいと不安を与えた。大元帥として軍部の要求を飲むように圧力をかけられながら、その反面でできれば軍部とは一線を引きたいと考えつつも、それが実らない。昭和天皇がもっとも苦しんだことは何だったのか。そのことを確かめることで天皇と軍部の関係が浮き彫りになってくる。

9/8⁺
14:00-18:00

真珠湾攻撃への道と昭和天皇

6

結局、日本社会は昭和10年代に入って、ひたすら戦争の道を歩むことになり、それが昭和16年12月8日の真珠湾奇襲攻撃へとつながっていく。この直線的な歩みの中で、昭和天皇はどのような考えを持っていたのだろうか。そのことが歴史的にも重大な意味をもつことになる。昭和天皇の置かれた状況を改めて検証していくことが重要になる。

後編：昭和天皇と昭和前期での戦い

昭和天皇が摂政宮に就任してから、昭和16年12月までの昭和前期に、天皇はどのような気持で日々をすごしたか。軍事を軸にしながらも、自らの歴史的な役割は何か、皇祖皇宗に対してどのような気持を持ったか。そのことを確かめながら、日本の歴史でもっとも困難な時代に身を置いた昭和天皇の姿をありのままに見つめていきたい。

昭和天皇の心中には、軍事主導体制そのものへの疑問と、しかし簡単にはいかない現状変革との闘いという側面があった。昭和天皇の苦悩・困惑・怒りを歴史の中に位置づけて考えてみたい。

開 催 概 要

日 程	2018年 4/14、5/12、6/9、7/7、8/4、9/8 (すべて土曜日)
回 数	6回
時 間	14:00-17:00(3時間) 9/8のみ14:00-18:00(4時間)
定 員	25名
会 場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	108,000円 (消費税8%込)
おすすめ したい方	◎日本の歴史、特に近現代史について知見を深めたい方 ◎これからの日本のあり方、世界の中の日本の位置づけについて、歴史を通して考えたい方

講 師 プ ロ フ ィ ー ル

保阪 正康 (ほさか まさやす)

1939年北海道生まれ。同志社大学文学部社会学科卒業。日本文藝家協会、日本ペンクラブの会員「昭和史を語り継ぐ会」を主宰。主に日本近代史(とくに昭和史)の事象、事件、人物に題材を求め、延べ4,000人余のひとりに聞き書きを行い、ノンフィクション、評論、評伝などの分野の作品を発表している。

現在『昭和史の大河を往く』シリーズ(毎日新聞社)は全13巻を数えている。一連の昭和史研究で2004年に菊池寛賞を受賞。

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項に記入の上、FAXにてお送り下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。
本申込書の受領をもってその内容を承諾いただいたものとみなします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>



参加者

講座名	保阪正康さんの近現代通史 【昭和天皇が歩んだ20世紀】<第一期>後編	<input type="checkbox"/> agoraメンバーシップに申し込む
会社・団体名		
所属		
フリガナ		
氏名		
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒	
TEL	-	-
FAX	-	-
e-mail		

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度 (個人申込みのみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 下記に他講座名を記入して下さい []
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

■割引制度(個人) 夕学五十講、クロッシングは慶應カード割引のみ適用
【複数申込割引】一度に複数の講座へお申し込みされた場合、参加費を最大20%割引いたします。ビジネスプログラムとの組み合わせも対象となります。
◆20%割引: 108,000円(消費税8%込)以上のagoraおよび知的基盤能力プログラムを複数同時に申し込んだ場合
◆10%割引: 上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合
【継続受講割引】過去に慶應MCCのプログラム・講座に参加し、終了日より1年以内にお申し込みされた場合、参加費を10%割引いたします。過去に法人で参加された方も、個人で参加される場合は対象となります。
【慶應カード割引】慶應カード会員の方が個人でお支払される場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社の提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

割引制度(法人)

agoraおよびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(夕学五十講、クロッシングは対象外)
詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階
株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきたく存じます。
ご不要の方は右記にチェックをお願いいたします。

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費の振込のないことをもってキャンセルとはみなしません。キャンセルの際は必ずご連絡ください。 ◆開講28日前まで: キャンセル料は発生しません。 ◆開講27日~21日前まで: 参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆開講20日~14日前まで: 参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆開講13日前以内: 参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。 ◆当方の都合でプログラムを中止する場合は全額返金いたします。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報のご提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。

<https://www.keiomcc.com/privacy.html>

なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。